

一緒に考えグッジョブしよう!

農林高校×沖縄ファミマ商品開発プロジェクト

みんなでグッジョブ運動の理念のもと、本島内の農林高校3校と沖縄ファミリーマートでは、校内で育てた農作物や地域の特産物を活用した商品開発・流通を実践し、未来の担い手となる才能豊かな人材の育成をめざしたプロジェクトに取り組んでいます。

高校生の斬新なアイデアが詰まった商品とは…。県内の沖縄ファミリーマートへLet's Go!

【発売予定】

- ◆第1弾 北部農林高校 2月15日(火)～(約3週間)
 - ◆第2弾 南部農林高校 3月発売予定
 - ◆第3弾 中部農林高校 4月発売予定
- みんなでグッジョブ運動HP

みんなでグッジョブ運動 [検索](#)



勝間和代氏は何を語ったか!?

みんなでグッジョブ運動では、TVなどで活躍中の経済評論家 勝間和代氏を招いて就業意識啓発シンポジウム「チェンジメーカーになろう～自分を変えよう!沖縄が変わる!～」を開催。

シンポジウムの模様を下記日程にて放映します。

- ◆日時 3月26日(土)午後3時～午後3時54分
- ◆琉球放送(RBC) デジタル3ch アナログ10ch
- ◇問合せ先 県雇用創出戦略スタッフ室 ☎098-866-2324

みんなでグッジョブ運動 [検索](#)

「業界別就業課題解決支援事業」のご案内

県では同業種の企業がある程度まとまり、就業問題に関する業界の課題把握、解決のための自主的な取り組みを行う場合、その費用を一部補助します。

- ◆補助内容
 - ①課題把握のための調査費
 - ②課題解決に向けた取り組みに要する経費
 - ③取り組み状況の周知に要する経費
 - ◆補助限度額 1業界あたり150万円
 - ◆補助率 4分の3
 - ◆対象業界数 3業界程度
 - ◆交付申請締切日 4月28日(木)
- 詳しくは、県雇用労政課HPでご確認ください。
◇問合せ先 県雇用労政課 ☎098-866-2366

一日のタイムスケジュール

【近隣中南部の調査の場合】
8:45 出勤
9:00～ 調査現場へ移動
終日、定点調査やフィールドワークなど川や陸上の生き物の観察・サンプリング
※ヘビやコウモリ、クワガタなど夜行性の生き物の場合は夜間調査(途中、食事休憩など有り)
20:00 退社

ハブやハチなどの被害、事故やケガ、体調管理に気をつけます。汚物が流れ込む川や暑さ・寒さが厳しい現場もありますが、さまざまな生物に出会えることが仕事の原動力。わからないことは専門書や科学論文などで調べ、お客さまへの成果報告はイメージを共有できる図や写真を使い、わかりやすい説明を心がけていきます。今後は技術士の資格取得をめざします。

仕事のツボ アドバイス

自然や動植物が好きで、大学などで専門の知識を身につけていることが望ましいでしょう。必須の技術や資格は特にありませんが、化学分析では環境計量士の資格があると有利。アルバイトから本採用という道もあるので、募集がなくてもまずは打診を!



一日のタイムスケジュール

【植え付け作業がある場合】
8:00～ 現場(今帰仁の海など)へ移動
9:30～ 海に潜ってサンゴの植え付け作業(途中、食事休憩など有り)
18:30 退社
※植え付け作業以外にリース用水槽のメンテナンスや営業、事務作業も担当。

ました。冬場の冷たい海中作業はつらいですが、サンゴが成長し、魚が少しずつ戻ってきたことを実感できるのは大きな喜び。植え付けたサンゴの定着は、多くても五十パーセント程度です。学校での出前授業やサンゴ養殖施設での体験学習会で子どもたちと触れる機会が多く、こちらが元気をたくさんもらっています。今の仕事を精一杯続けていきたいですね。

仕事のツボ アドバイス

県内に就職を絞り、周囲より早く2年次の2月に就活を開始。企業研究も早めに対応し、自分でチャンスを広げる努力をしました。面接では自分を誇張したり模範解答をやめて、自己を冷静に分析してありのままの姿勢で挑戦。それが良かったかも。



環境調査研究員



(株)沖縄環境分析センター環境調査部 生物環境室陸域生物課研究員 比嘉 敦さん(勤続3年10ヵ月・33歳)

好 きだった生き物のことを極めて仕事に

子どもの頃から生き物が好きでハトやカメを飼っており、中学時代から生物に関わる仕事がしたいと考えていました。進学は修士課程までは山形大学、博士課程からは筑波大学で川の藻類を専門に研究。卒業後は沖縄で就職しようと決め、自然環境で

の調査もしている今の職場のホームページをインターネットで見。募集はありませんでしたが、「ぜひ働きたい」とメールを送り、面接を経て採用となりました。

さ まざまな生物との出会いが大きなやりがい

開発に伴う生物環境への影響を予測・評価するのが仕事。屋外調査では

潜水士(サンゴ養殖)



沖電開発株式会社企画開発部 経営企画グループ 中村 明毅さん(勤続2年・24歳)

機 械からサンゴへ、予想外の分野に挑戦!

飛行機設計に憧れて、琉球大学で機械工学を専攻。卒業研究では、ロボットのマグロも作りました。建設・機械関係の仕事を探る中で、不動産売買や管理、建設や造園など幅広い分野に携われる今の職場に魅力を感じて就職。入社後は予想と異なり、

海 のことを考える機会が増えました!

潜水士の免許取得もサンゴの知識を学んだのも入社後。必死に勉強し



環境に携わるシゴト

環境調査研究員と潜水士(サンゴ養殖)

沖縄の美しい自然を守るため、厳しい環境下で作業を行う二人。専門知識や技術を生かして意欲的に仕事をしていました。

その他の「環境に携わるシゴト」
・エコツアーガイド
・エコ資材の製造
・リサイクル業者など

みんなのヒント白書

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある!就活世代に役立つヒントがいっぱいあります。